



SHIZUOKA BlueRevs

SEASON REPORT

JAPAN RUGBY LEAGUE ONE 2022-23 SEASON
THANK YOU FOR YOUR SUPPORT

MIRACON

革新と情熱で、 心躍る最高の感動をつくりだす

ラグビーの世界で、最高峰にチャレンジする。

フィールドの中でも、外でも、世界と対等以上に渡り合う。

そのために、
私たちにしかできないアイデアと熱量と想いを結束し、
「最高だと思える瞬間」「心躍る感動」を
つくり続けます。

静岡から世界を魅了する、 日本一の プロフェッショナルラグビークラブをつくる

静岡県を代表するクラブとして、
ファン・地域・パートナーとともに、
プレーのみならず、
ラグビーに関するすべての分野で世界最高峰に挑んでいきます。

『SHIZUOKA PRIDE』を胸に、
日本、世界で語り継がれる強く・愛されるクラブを目指し、
ラグビー界を牽引します。

CONTENTS

ご挨拶	P3	募金活動	P9
選手、チームスタッフ紹介	P4	普及活動	P10
戦績・各種実績	P5	ラグビースクール・アカデミー	P10
ホストゲーム	P6	Revsキャラバン	P11
公式ボランティア Revs Crew	P7	メディア露出・プロモーション活動	P12
地域との連携活動	P8	SNSの取り組み	P13
海外との提携	P8	企業とのタイアップ	P14
SCRUM Action	P9	2022-2023シーズン静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー	P15



ご挨拶



静岡ブルーレヴズ株式会社
代表取締役社長

山谷 拓志

プロラグビークラブ静岡ブルーレヴズとしての2年目のシーズンが終了いたしました。声出し応援が解禁となり熱い声援で選手を後押しいただきましたレヴニスタの皆様、日頃より多大なるサポートをいただいておりますスポンサー・サプライヤー・パートナーならびにメディア関係者の皆様、連携協定を結びご支援を頂いております静岡県をはじめとする県内市町の自治体関係者の皆様、試合運営にご協力をいただきましたジャパンラグビーリーグワン並びに静岡県ラグビーフットボール協会関係者の皆様、ホスピタリティあふれるホストゲーム運営にご尽力いただいたボランティアRevs Crewの皆様、共に戦った選手・チームスタッフ、会社を支えてくれた社員・スタッフ、そのご家族の皆様、そしていつもクラブや選手を支えていただいておりますヤマハ発動機の皆様、ご支援ご協力ご声援をいただきましたすべての静岡ブルーレヴズファミリーの皆様にご心より感謝を申し上げます。

2023-24シーズンは、売上世界一のクラブそしてリーグワンでタイトルを獲り日本一のクラブとなるために、これまでの進化・成長を確実な成果とするために、さらに一段高いステップを踏みしめるシーズンとしなければなりません。

1日1日を大切に、着実にそして確実にステップを踏み、皆様のご期待にしっかり応えることができるチームづくりとホストゲーム運営を実現し、強く愛される世界一のプロラグビークラブを目指して参ります。

今後とも静岡ブルーレヴズに変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



静岡ブルーレヴズ株式会社
クラブ・リレーションズ・オフィサー

五郎丸 歩

日頃より静岡ブルーレヴズへあたたかいご支援・ご声援をありがとうございます。

皆様の支えがあり、静岡ブルーレヴズとしての2シーズン目を無事に終了することができました。

これからも皆様とRevsにしか作り出せないものを常にチャレンジし、「このクラブが静岡にあってよかった」そう思っただけのように、来シーズンもクラブ全体で尽力して参ります。

皆様のお力添えを賜りながら、どうか末永い静岡ブルーレヴズへの御支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



ヘッドコーチ
堀川 隆延



共同キャプテン
クワッガ・スミス



共同キャプテン
奥村 翔

今シーズン、静岡ブルーレヴズをサポートしてくださった全ての皆様に心から感謝申し上げます。

私たちの挑戦に、熱いご声援、ご支援をいただきまして、誠にありがとうございました。昨年、「来年は強くなって帰ってきます」とお話をさせていただきました。その言葉を胸に、選手、スタッフ含めてハードなトレーニングを積み重ねてきた1年間でした。結果を見れば、良い試合もあれば悔しい試合もあったシーズンとなりましたが、その中でも昨年よりは成長できているという手応えも感じたシーズンだったと思います。このチームにはまだまだ、足りない部分もありますが、来シーズンはもっと努力し、もっと学び、強くなって帰ってきます。自分たちのオリジナリティである【Revs Style】をさらに磨き、最後勝ち切るチームになり、最高の感動をお届けしたいと思います。1年間、熱いご声援を本当にありがとうございました。

1年間の皆さんより多くの応援をいただいたことに感謝申し上げます。

良い時も悪い時もあるシーズンとなりましたが、たくさんの方の支えがあったからこそ、この1年間を過ごすことができました。これから来シーズンに向けて、ハードワークを行い、しっかりと準備をして、また皆さんの前に戻ってまいります。そして来シーズンは結果を見せていきたいと思っています。今シーズン多くのご声援いただき、本当にありがとうございました。

平素より多大なるご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

2年目のシーズンを最後まで走り続けることができたのも、皆さまのサポートがあってこそだと感じております。たくさんの方の応援をありがとうございました。今年の結果については、選手はじめ、誰一人として満足していないと思います。次のシーズンは必ず今年よりも順位を上げることはもちろん、優勝を掴み取れるよう、私たちは必ず強くなって戻ってまいりますので、引き続きのご支援の程、どうぞよろしくお願いいたします。

2022-23 SEASON PLAYERS

代表キャップ数(2022年12月時点)

 日本代表 6 Caps 伊藤 平一郎 HEICHIRO ITO	 西村 颯平 SOHEI NISHIMURA	 植木 悠治 YUJI UEKI	 岡本 慎太郎 SHINTARO OKAMOTO	 河田 和大 KAZUHIRO KAWATA	 台湾代表 3 Caps 郭 玟慶 BUNKEI KAKU	 泓 城蓮 JOREN FUCHI	 茂原 隆由 TAKAYOSHI MOHARA	 日本代表 5 Caps 日野 剛志 TAKESHI HINO
 日本代表 5 Caps 大戸 裕矢 YUYA ODO	 桑野 詠真 EISHIN KUWANO	 舟橋 諒将 RYOSUKE FUNAHASHI	 三浦 駿平 SHUMPEI MIURA	 島澤 諭 SATOSHI HATAZAWA	 アニセ サムエラ SAMUELA ANISE	 八木澤 龍翔 RYUTO YAGISAWA	 日本代表 2 Caps 三村 勇飛丸 YUHIRARU MIMURA	 高橋 在人 ARITO TAKAHASHI
 松本 力哉 RIKIYA MATSUMOTO	 オーストラリア代表 1 Cap イシ・ナイサラニ ISI NAISARANI	 日本代表 7 Caps マルジーン・イラウア MALGENE ILAUA	 日本代表 16 Caps 矢富 勇毅 YUKI YATOMI	 吉沢 文洋 FUMIHIRO YOSHIZAWA	 田上 稔 MINORU TANOUÉ	 布林・ホール BRYN HALL	 清原 祥 SHO KIYOHARA	 サム・グリーン SAM GREENE
 マロ・ツイタマ MALO TUITAMA	 キーガン・ファリア KEAGAN FARIA	 山口 楓斗 FUTO YAMAGUCHI	 NEW 横 瑛人 EITO MAKI	 NEW アラパティ・レイウア ALAPATI LEUA	 トンガ代表 9 Caps ヴィリアミ・タヒトゥア VILIANI TAHITUA	 小林 広人 HIROTO KOBAYASHI	 石塚 弘章 HIROAKI ISHIZUKA	 日本代表 2 Caps 鹿尾 貴太 KANTA SHIKAO

STAFF 強化部長兼ゼネラルマネジャー 山谷 拓志
アシスタントゼネラルマネジャー 串田 義和
アシスタントゼネラルマネジャー 佐藤 洋平
ヘッドコーチ 堀川 隆延
アシスタントコーチ/パフォーマンスディレクター 大久保 直弥

アシスタントコーチ 有賀 剛
アシスタントコーチ 名嘉 翔伍
アシスタントコーチ モセ・トゥイアアリイ
スピードコーチ 杉本 龍勇
アドバイザー 長谷川 慎

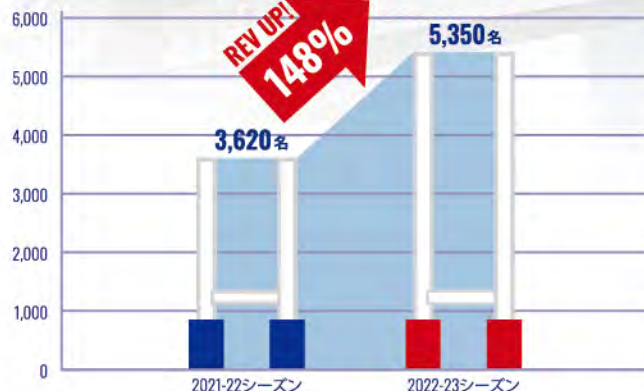
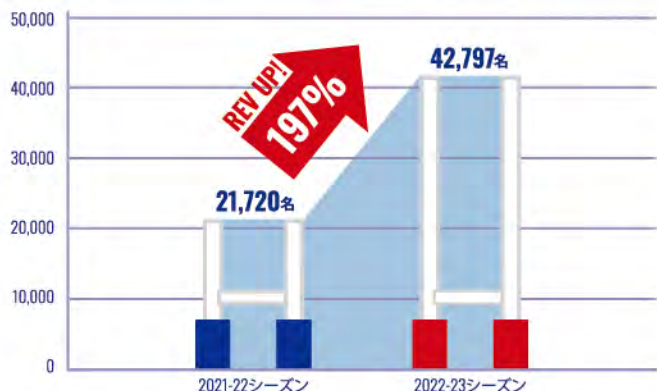
プレイングアドバイザー 矢富 勇毅
ハイパフォーマンスマネジャー 新田 博昭
ハイパフォーマンスコーチ 井野川 基知
アシスタントハイパフォーマンスコーチ 佐藤 大起
ヘッドアスレティックトレーナー 飯田 力

アスレティックトレーナー 鈴木 浩貴
理学療法士 相澤 基貴
リハビリスペシャリスト 村田 隆郎
チームドクター 猿川 潤一郎
チームドクター 山崎 薫

節	HOST/VISITOR	対戦日	対戦チーム	スコア	勝敗	会場	観客数(人)
第1節	VISITOR	2022.12.17 (土)	トヨタヴェルブリッツ	26-31	●	豊田スタジアム(愛知県)	12,213
第2節	HOST	2022.12.25 (日)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	14-15	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	9,443
第3節	VISITOR	2023. 1. 7 (土)	東芝ブレイルーパス東京	16-29	●	等々力陸上競技場(神奈川県)	4,693
第4節	HOST	2023. 1.15 (日)	リコーブラックラムズ東京	22-34	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	2,836
第5節	VISITOR	2023. 1.22 (日)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	27-27	△	相模原ギオンスタジアム(神奈川県)	3,420
第6節	HOST	2023. 1.29 (日)	NECグリーンロケッツ東葛	21-0	○	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	3,721
第7節	VISITOR	2023. 2. 5 (日)	花園近鉄ライナーズ	34-14	○	東大阪市花園ラグビー場(大阪府)	2,760
第8節	VISITOR	2023. 2.19 (日)	コベルコ神戸スティーラーズ	29-32	●	神戸総合運動公園ユニバー記念競技場(兵庫県)	3,222
第9節	HOST	2023. 2.25 (土)	東京サントリーサンゴリアス	17-25	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	4,552
第10節	VISITOR	2023. 3. 3 (金)	横浜キヤノンイーグルス	22-22	△	秩父宮ラグビー場(東京都)	5,929
第11節	HOST	2023. 3.11 (土)	クボタスパークス船橋・東京ベイ	27-40	●	エコパスタジアム(静岡県袋井市)	3,531
第12節	VISITOR	2023. 3.18 (土)	リコーブラックラムズ東京	19-15	○	秩父宮ラグビー場(東京都)	1,918
第13節	HOST	2023. 3.26 (日)	三菱重工相模原ダイナボアーズ	30-20	○	IAIスタジアム日本平(静岡県静岡市)	2,504
第14節	HOST	2023. 4. 8 (土)	東芝ブレイルーパス東京	29-37	●	エコパスタジアム(静岡県袋井市)	4,007
第15節	VISITOR	2023. 4.15 (土)	埼玉パナソニックワイルドナイツ	44-25	○	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場(埼玉県)	4,889
第16節	HOST	2023. 4.23 (日)	トヨタヴェルブリッツ	27-37	●	ヤマハスタジアム(静岡県磐田市)	12,203

▶▶ ホストゲーム総観客数: 42,797名

▶▶ ホストゲーム平均観客数: 5,350名



HO 江口 晃平 KOHEI EGUCHI	HO 平川 隼也 TOSHIBA HIRAKAWA	HO 山下 憲太 KENTA YAMASHITA	HO リッチモンド・トンガタマ RICHMOND TONGATAMA	LO マリー・ダグラス MURRAY DOUGLAS
FL 杉原 立樹 RIKI SUGIHARA	FL クワガガ・スミス KWAGGA SMITH	FL 庄司 拓馬 TAKUMA SHOJI	FL ジョーンズリチャード剛 RICHARD GOH JONES	FL 齋藤 良明 慈縁 LAMIN DIENG SAITO
SO 岡崎 航大 KODAI OKAZAKI	SO 家村 健太 KENTA IEMURA	WTB 日本代表 1 Cap 伊東 力 CHIKARA ITO	WTB 吉良 友嘉 TOMOKAZU KIRA	WTB 矢富 洋則 HIRONORI YATOMI
CTB 白井 吾士 矛 ATOMU SHIRAI	CTB クリントン・スワート CLINTON SWART	CTB ジョニー・ファアウリ JOHNNY FAULI	CTB 伊藤 峻祐 SHUNSUKE ITO	FB 奥村 翔 KAKERU OKUMURA

メディアカールアドバイザー 内山 啓
アナリスト 瀬尾 勝太
ITコーディネーター 松山 貴博
チームマネージャー/広報 林 優子
アシスタントマネージャー/通訳 赤松 魁

通訳 梶原 美央
管理栄養士 松本 恵美子
リクルーター 西内 勇人
エグゼクティブコーチ 倉重 知也

-PLAYERS TOPICS-

大戸選手、日野選手100CAP達成

大戸 裕矢
YUYA ODO
TOP LEAGUE LEAGUE ONE 100 CAPS

日野 剛志
TAKESHI HINO
TOP LEAGUE LEAGUE ONE 100 CAPS

リーグワンスタッツランキング (2023年4月28日時点)

ボールキャリア	第2位 ヴィリアミ・タヒトゥア	194	ボールを持ってプレーをした数
ゲインメーター	第6位 マロ・ツイタマ	1,294	ボールを持ってゲインラインを越えてプレーした距離(m)
ディフェンス突破	第5位 ヴィリアミ・タヒトゥア	65	ボールを持った選手がディフェンスの選手をかき、倒すなどして突破した数(1人突破ごとにカウント)
タックル成功	第4位 日野 剛志	164	タックルが成立した数。
	第5位 ジョーンズ リチャード剛	162	ミスタックルや、相手選手にオフロードパス、トライを許したタックルは除く
	第10位 河田 和太	151	
ラインアウト成功	第3位 大戸 裕矢	81	ラインアウトでボールのキャッチを成功した数

静岡ブルーレヴズのホストスタジアム



ヤマハスタジアム (磐田市)

開幕戦・最終戦を含む5試合を開催!場外レヴスタ広場には様々なゲストが来場、ミニステージや自治体ブースを出展いただき大いに賑わいました。ヤマハ発動機第40駐車場を使ったキッズパークも3試合開催し、親子で楽しめる空間を創出。



エコパスタジアム (袋井市)

3/11・4/8の2試合を開催。3/11には東日本大震災復興応援マッチとして、伝統の大漁旗ヒストリーを感じる1日を演出。4/8ナイターゲームでは花火の打ち上げ・ビアガーデン・ロマンチックナイトと題してプロポーズ大作戦を実施。



IAIスタジアム日本平 (静岡市)

清水エスパルスのホームスタジアムで昨年に引き続き2回目、3/26の桜の季節に1試合を開催。大雨の中、シーソーゲームを逆転で制し勝利!

加えて2022-2023シーズンは下記2会場にてプレシーズンマッチ・キャンプを実施



草薙総合運動場 球技場 (静岡市)

11/19に横浜キャノンイーグルスとのプレシーズンマッチを開催。



駿東キャンプ (御殿場市・裾野市)

御殿場高原 時の柵に滞在し、スポーツセンター裾野グラウンドでトレーニングを実施。富士山の目の前で素晴らしいトレーニングを積みました。

ホストゲーム

ブルーレヴズらしさ・静岡らしさが感じられるホストゲーム



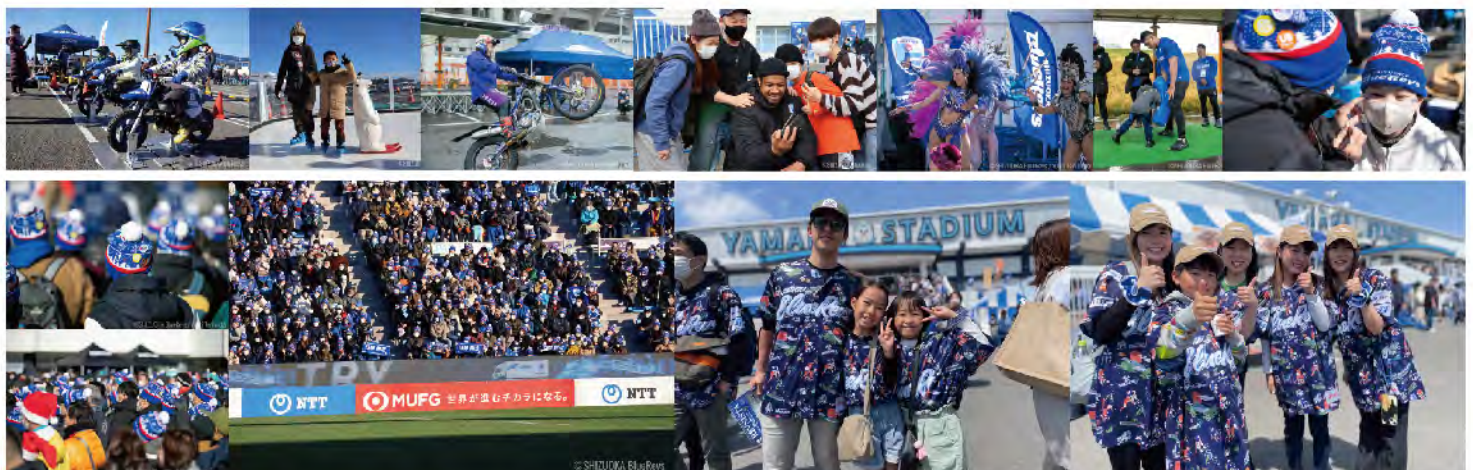
ヤマハスタジアム・エコパスタジアム・IAIスタジアム日本平と3つのホストスタジアムで開催するホストゲームは、それぞれ特徴のあるスタジアムイベントを実施。

バイクや大漁旗、エコパスタジアムでの花火など、来場者の皆様楽しんでいただくイベントを実施しています。

また、観客席で解説を聞きながら観戦ができる音声配信サービス「レヴラジ」など、はじめて観戦に来られた方にも楽しんでもらえる工夫も行っています。

静岡名物の「マグロ」や「カツオ」を使ったスタジアムグルメも充実!

今後も「心躍る最高の感動」をホストゲームで提供してまいります。



▶ホストゲーム開幕戦・最終節では、企業様のご協力により、ご来場者先着1万名様に応援グッズを配布

満員のスタジアムで非日常的な空間を創出

12,203 名



静岡ブルーレヴズ
公式ボランティア

REVS CREW

SHIZUOKA BlueRevs official volunteer

日本一のSpectator Serviceを目指して**絶賛活動中!!**

22年1月に開幕した「NTT JAPAN RUGBY LEAGUE ONE」日本ラグビー界は新たなステージに歩み始めました。そんな新しいリーグにプロフェッショナルラグビークラブとして参戦する静岡ブルーレヴズが公式ボランティア「Revs Crew」を立ち上げました。ラグビーワールドカップ2019日本大会や東京オリンピックのレガシーを引き継ぎながら、それらに負けずとも劣らない日本一の「Spectator Service(観客体験)」と地域に根差したプロフェッショナルチームとして、地域課題を解決し「Social Good(社会貢献)」を実現してまいります。



公式ボランティア「Revs Crew」

静岡ブルーレヴズが掲げるミッション「革新と情熱で、心躍る最高の感動を作り出す」その心躍る感動を生み出す原動力となりたい、そんな思いから「Revs Crew」は設立されました。

従来の試合会場の雰囲気以上に、親しみやすく、前向きで明るいパワーを生み出しながら、観客の皆様へ感動を提供するだけでなく、何よりも参加するボランティア自身が楽しめるボランティア活動を提供していきたいと考えています。



地域との連携活動

静岡ブルーレヴズは、静岡県をはじめ、県内の各自治体とパートナーシップ協定を結んでおります。この協定は、地域のスポーツ振興はもちろん、子どもたちの健全育成や、健康長寿の増進、スポーツを通じた販わいの創出や地域活性化など、多岐にわたる協定であり、All FOR SHIZUOKAを掲げる静岡ブルーレヴズならではの活動となっています。

- ・静岡県・浜松市・磐田市・袋井市・掛川市
- ・静岡市・菊川市・湖西市・西伊豆町



磐田市1日消防長



袋井市生き物調査・どろんこラグビー



いわた大祭り遠州大名行列・舞車

海外との提携

静岡ブルーレヴズは、スタッド・トゥールーズ、ベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオンとパートナーシップを結んでおります。フランス1部リーグ「TOP14」に所属するスタッド・トゥールーズ(Stade Toulousain)とのパートナーシップ協定を再締結し、ベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオンとのパートナーシップ協定を締結致しました。

2020年から新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響によりしばらくの間グローバルでの交流が制限されておりましたが、2022年10月にベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオンを、11月に、静岡ブルーレヴズとして初めてスタッド・トゥールーズを訪問。トップミーティングを実施し、パートナーシップ協定の静岡ブルーレヴズとしての協定に基づく取組みの実施及びさらなる関係構築の継続を確認致しました。

今後は各クラブの選手及びコーチングスタッフの交流や、国際親善試合の開催、合同トレーニングの実施などを実施していく予定です。



スタッド・トゥールーズ 概要

1907年クラブ創設。フランス1部リーグ「TOP14」に所属。
本拠地はトゥールーズ。
フランス選手権優勝21回、ヨーロッパチャンピオンズカップ優勝5回(いずれも史上最多)誇る強豪。



ベイ・オブ・プレントゥラグビーユニオン 概要

ベイ・オブ・プレントゥ地方のラグビーユニオン。地域における全てのラグビー活動を統括している。

男女トップチームの強化をはじめ、アンダーカテゴリーの育成、地域へのラグビー普及や地域貢献などの活動を行っている。

BOPから多くのニュージーランド代表選手(男子15人制「All Blacks」、女子15人制「Black Ferns」)を輩出している。現All Blacks主将サム・ケイン(Sam Cane)もBOP出身。



SCRUM Action



静岡ブルーレヴズが重点テーマとして定めた社会課題を中心に、事業活動を通じてそれらの社会課題の解決に貢献するためのプロジェクトです。

重点テーマ	重点課題	説明
Ecology	・脱プラスチック ・カーボンニュートラル	静岡県には日本一の山「富士山」があり、駿河湾に面し水資源など自然に恵まれた環境です。静岡県をホストエリアとして活動している静岡ブルーレヴズは、恵まれた自然を未来へ守っていく取組みが重要と考え、環境保全、気候変動への対策に向けて、より良い未来のために積極的に取り組んでいきます
Food	・フードロス ・食育 ・地産地消	“食”はスポーツ選手に限らず、すべての人が健康でより良い生活をする上で重要な要素です。社会では十分な食を確保することができない課題もある一方、食品の廃棄が大量に発生している現実もあることから、食の大切さ、貴重な食品を無駄にしない取組みを実施していきます。
Diversity	・国際交流 ・障がい者支援 ・LGBTQ	ラグビーは「多様性」のスポーツと言われています。「多様性」といった価値観を正しく理解し、多様性が認められる社会、また全ての人々が安全に安心して暮らせる社会の実現に向け、日々の活動やホストゲームを活用した取組みを実施していきます。

SCRUM Action 実施報告



パラスポーツ体験会
静岡県、公益財団法人静岡県障害者スポーツ協会と連携し、ホストゲームスタジアムにて車いすバスケットボール、ボッチャの体験会を実施しました。



スポーツウェアの寄付
ヤマハ発動機と開始した社会貢献活動「Blue Ties (ブルータイズ)」の一環で、ヤマハクリーンウォーターシステムのメンテナンス時期に合わせて新興国の村落へ寄付するスポーツウェアを募りました。



フードドライブ
ホストゲームスタジアムでご寄付いただいた食品はフードバンクふじのくから社会福祉協議会などの支援団体を通じて、必要としている方へ届けられます。

募金活動

令和4年台風15号静岡県災害支援ブルーレヴズ義援金募金、トルコ・シリア地震救援金募金、東日本大震災復興応援募金の募金箱を設置しました。

ホストゲームや各種イベントにて募金箱を設置させていただき、皆様より温かいお心遣いをお預かりしました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



令和4年台風15号静岡県災害支援ブルーレヴズ義援金募金

- 実施時期： 2022年10月1日(土)～11月30日(水)
- 実施場所： プレシーズンマッチホストゲーム会場、各種イベント会場にて募金箱を設置
- 義援金贈呈先： 日本赤十字社静岡県支部(静岡県内の全域に配分されます)
- 総額： 266,529円

トルコ・シリア地震救援金募金

- 実施時期： 2023年2月25日(土)～3月11日(土)
- 実施場所： 2月25日(土)東京サンゴリアス戦(ヤマハスタジアム)、3月11日(土)クボタスピアーズ船橋・東京ベイ戦(エコパスタジアム)にて募金箱を設置
- 義援金贈呈先： 日本赤十字社「2023年トルコ・シリア地震救援金」
- 総額： 90,845円

東日本大震災復興応援募金

- 実施時期： 2023年3月11日(土)
- 実施場所： 3月11日(土)クボタスピアーズ船橋・東京ベイ戦(エコパスタジアム)にて募金箱を設置
- 義援金贈呈先： 釜石シーウェイブス RFC(釜石市復興支援にご活用いただきます)
- 総額： 72,900円

普及活動

ラグビー教育レガシー推進事業



静岡県・静岡県教育委員会との連携事業



2019年に行われたラグビーW杯2019のレガシーを次世代に継承するための活動。推進校に指定された学校へ出向き、ラグビーのコアバリューを教育に取り入れ、子供たちの体力向上や人格形成を育む取り組みを行っています。

2022年度活動実績

計50回、延べ3,026名

(2023年3月31日現在)

トップアスリート連携事業



浜松市との連携事業

トップアスリートを学校などに派遣し、体験教室や講演会を開催することで、スポーツを通して子供たちの前向きな意欲を育み、将来のスポーツ実施者の増加や次世代アスリートの育成を図っています。

2022年度活動実績

計4回、延べ215名

(2023年3月31日現在)

学校普及活動



幼稚園やこども園に訪問し、ラグビーボールを使ったレクリエーション等を実施。また、小学校・中学校・高校に出向き、経験豊富なスタッフが学年や学校のニーズに合った授業を展開。タグラグビーの基本から試合までを指導したり、元選手の経験を生かして夢を持つ大切さを伝える「夢語り」も行っています。

2022年度活動実績

計151回、延べ8,738名

(2023年3月31日現在)

ラグビースクール・アカデミー



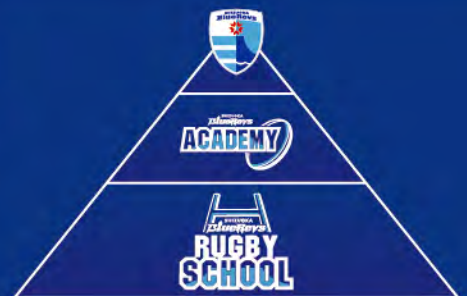
ラグビースクール

ヤマハ発動機時代を含め20年以上の活動実績。2022年度は253名(2023年2月時点)の生徒が在籍し、年中から大人クラスまで幅広い年代の方がラグビーを楽しんでいます。ラグビーの技術だけでなく、ラグビーを通じた人間力の向上をサポートしています。



アカデミー

2022年4月より小学5年生～中学3年生を対象に活動開始。2022年度は49名(2023年2月時点)の生徒が在籍。高校、大学と次のステージにつながる基本的なスキルの習得や、静岡産業大学と連携し、定期的に成長のモニタリングを実施しながら体作りに取り組んでいます。



育成モデル

ラグビーを通して子どもの好奇心を広げ、幅広い年代に楽しさを知ってもらう「スクール」や、競技スキルを向上したいという思いを叶えるために元トップリーガーが全力でサポートする「アカデミー」を通して、世界と戦える人材を静岡から輩出していきます。

Revsキャラバン



県主催事業以外の活動を「Revsキャラバン」と称して活動を開始しました。心躍る最高のひと時を提供すべく、ホストエリアである静岡県全域でより精力的に活動していきます。

2022年度の本活動は株式会社ソミックマネージメントホールディングス様よりご支援のもと実施しました。



外部講師派遣

通常の学校普及活動に加え、地域・社会貢献活動の一環として外部講師等にも挑戦し、地域の皆様との連携をより深めていきます。

菊川市スポーツ講座



静岡県西部 男性保育士向け研修会



メディア露出

静岡県全域をホストエリアとして、県内外のメディア露出が増加中



五郎丸CROら 最終戦PR
ラグビー静岡BR 浜松でチラシ配布

【静岡市】ラグビー静岡ブルーレヴズ（以下、ブルーレヴズ）は、2023年3月26日（日）に浜松市にある「アクトシティ浜松」で、最終戦のPRイベントを開催しました。当日は、五郎丸歩選手（CRO）をはじめとする選手やスタッフ、ファンらが参加し、最終戦のPRや、チームの今後の抱負について話し合いました。また、ブルーレヴズのグッズやチラシを配布し、ファンとの交流を図りました。



【メディア掲載実績】

静岡新聞、中日新聞、日本経済新聞、建通新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日刊スポーツ、スポーツ報知、スポーツニッポン、サンケイスポーツ、東京中日スポーツ、ラグビーマガジン、ラグビーパブリック、広報いわた、静岡ビジネスレポート、経済界、磐田商工会議所会報誌、静岡リビング新聞、清水ベイプレス、ma-ne、ジュビロキッズ、NHK、SBS静岡放送、静岡朝日テレビ、テレビ静岡、静岡第一テレビ、K-MIXラジオ(Radio SHIZUOKA BlueRevs)、FM Haro!、CSAチャンネル ほか

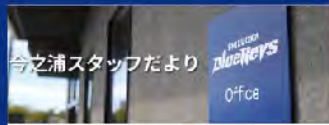
静岡県内でのプロモーション活動

ホストゲーム開催前には、静岡県内でのチラシ配りやポスター配付を実施し県民の皆様への周知を行っています。また、ラッピングバス運行やフォトスポット設置、駅構内装飾、商業施設での懸垂幕掲載にご協力いただき、県内各地でプロモーションをすることができました。地域の皆様と交流を持つ機会として、ビジターゲーム時にオフィス1FのHIGHMEAL 磐田店でパブリックビューイングを開催したり、県内各地で静岡ブルーレヴズオフィシャルグッズをお取り扱いいただいております。着実に地域から愛されるクラブへと成長を加速できています。



SNSの取り組み

新たに公式noteアカウントを開設し、スタッフの思いやクラブオフィシャルライターによる観戦記など、多岐にわたるコンテンツを投稿中です。様々な視点から語られる静岡ブルーレヴズをぜひご覧ください。新たな挑戦とともに、静岡から心躍る感動を世界へ届けていきます。



今之浦スタッフだより

今之浦オフィスに勤める静岡ブルーレヴズの社員・スタッフの発信マガジンです。チケット担当やグッズ担当など、各担当がそれぞれの仕事に対する思いやコンセプトを紹介しています。



山谷拓志(やまや たかし) 静岡ブルーレヴズ

プロスポーツビジネスの本質や、地域に根ざすプロフェッショナルラグビークラブづくり、静岡ブルーレヴズの現在地などについて、代表取締役社長の山谷拓志の思いを綴るコンテンツとなっております。



オフィシャルライター | 大友信彦マガジン

2022-2023 シーズンクラブオフィシャルライターを務める大友信彦さんによるマガジンです。各試合の観戦記や、選手・スタッフインタビューなど「静岡ブルーレヴズ」の魅力を最大限に表現するコンテンツです。



選手が綴る〜日野剛志がみるブルーレヴズ

現役選手の「日野剛志」が自らの思いを綴るコンテンツです。日本代表活動で感じたことや、現場の雰囲気やチームの状況、選手が直に感じていることなど、選手ならではの視点で語る内容となっております。

■各種SNSで静岡ブルーレヴズを広く世界に発信!

スポンサー様やレヴニスタ、行政等とのコミュニケーションツールとして運用しました。



SNSフォロワー数

※()は2023年5月9日時点でのJAPAN RUGBY LEAGUE ONE 23クラブ中の順位



(2023年5月10日現在)

OFFICIAL FANCLUB CLUB REVS 会員数

2022 シーズン

2022-23シーズン

11,903人

REV UP!
157%

18,696人

■コラボレーショングッズ

各メーカーとコラボレーションを実施し、様々なグッズを展開

NEW ERA x



stojo x



Hydro Flask® x



■NordVPN



世界で最も先進的なVPNサービスプロバイダーで、世界中の何百万人ものユーザーに利用されている【インターネットセキュリティ対策アプリ】のNordVPNパートナーシップ契約を締結し、レヴニスタ限定の割引にてサイバーディフェンス強化のキャンペーンを実施。

■TATRAS INTERNATIONAL



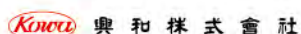
TATRAS INTERNATIONAL株式会社とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、静岡ブルーレヴズ選手スタッフ社員に対しオーダースーツをサプライいただいております。クラブ公式行事をはじめとし、ジャパンラグビーリーグワン公式戦等においてサプライスーツを着用しております。お互いの価値を高めあうことで、ステークホルダーの方々に対して心躍る最高の感動を届けられるよう活動をしてまいります。

2022-2023シーズン 静岡ブルーレヴズ オフィシャルパートナー

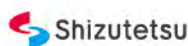
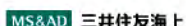
プラチナパートナー



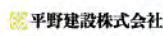
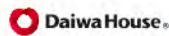
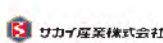
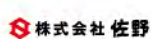
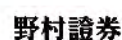
ダイヤモンドパートナー



ゴールドパートナー



シルバーパートナー



ブロンズパートナー

浜松いわた信用金庫

株式会社グリーンワークス

株式会社村松商店

株式会社アイジーコンサルティング

あいネットグループ

石川建設株式会社

磐田化学工業株式会社

うちやま呼吸器・アレルギークリニック

佐藤産業株式会社

株式会社ジェイ・ブラッカ

須山建設株式会社

株式会社西伊豆プロジェクト

株式会社トランスポートオオスギ

株式会社 NEXT STAGE

浜松ホトニクス株式会社

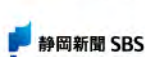
株式会社フォルテ

株式会社樹元ホールディングス

丸八不動産株式会社

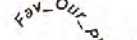
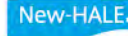
株式会社八ヶ代造園

メディアパートナー



スクール/アカデミーパートナー

オフィシャルサプライヤー



自治体連携協定



産学連携協定



海外パートナーシップ協定





SHIZUOKA BlueRevs

静岡ブルーレヴズ株式会社 会社概要

会社名	静岡ブルーレヴズ株式会社 (SHIZUOKA BlueRevs, Ltd.)
設立	2021年(令和3年)6月22日
資本金	1億円(2023年2月現在)
株主	ヤマハ発動機株式会社(100%)
本社オフィス	〒438-0071 静岡県磐田市今之浦3-8-8
クラブハウス	〒438-0002 静岡県磐田市大久保891番地106
代表取締役社長	山谷 拓志
取締役	日高 祥博
取締役	橋本 満
社外取締役	鈴木 健一郎
社外取締役	和田 由佳子
従業員数	32名(2023年4月現在)
事業内容	ラグビーチームやラグビースクールの運営、 ホストゲーム興行他

お問い合わせ

静岡ブルーレヴズ株式会社 電話:0538-32-0206(平日10時~18時) メール:information@shizuoka-blurevs.com